

Ⅲ 事業実績

イ 重点広報Ⅱ (集中実施期間PR)

記念事業が最も集中する9、10月の集中実施期間に向け、事業情報を重点的にPRし、事業の参加・周遊促進を図った。

展開した主な広報

媒体	期間	発信情報	部数
CUE (情報誌)	7/12	イベントPR, 関連商品紹介等	約60万部
イベントガイド	7/26 ~	8月以降の全イベント一覧	6万部
FM ちゅーピー	8/12	記念イベント等のPR	-
ひろしま市民と市政	8/15	記念事業の趣旨, 記念式典・入城行列等のイベント	38万部
デジタルサイネージ	8/14 ~	記念事業の参加を呼びかける動画	15秒動画
Busport	8/25	イベントPR, 関連商品の紹介	25万部
県民テレビ	8/28	広島県の歴史・文化情報, イベントのPR	-
ポスター	9/1 ~	入城行列等のPR	1,500部
チラシ	9/1 ~	入城行列等のPR	3万部
広島市広報テレビ番組	9/1	広島県の歴史・文化の情報, 入城行列等のPR	-
ちゅーピー子ども新聞	9/1 掲載 9/15 掲載	9/1 こども記者取材 9/15 スタンプラリー	約74万部
ちゅーピー子ども掲示板	9月中	9~10月のイベント情報	約7,000部
30段新聞広告	9/7	記念事業の趣旨, 記念式典・入城行列等のイベント	中国新聞 約60万部

イベントの紹介・PR



▲イベントガイド (表紙)



▲イベントガイド (中紙) 8月~3月の全イベント紹介

Ⅲ 事業実績



▲デジタルサイネージ
記念事業の参加を呼びかける動画



▲県民テレビ
広島歴史・文化情報、イベントのPR



▲ポスター・チラシ
時代行列・入城行列のPR



▲ちゅーピー子ども新聞
こども記者取材やスタンプラリー情報



▲CUE
イベントPR、関連商品紹介



▲ちゅーピー子ども掲示板
9月～10月イベント情報

広報換算額 約4.56億円

※推進会議広報投資額 13百万円

(新聞・テレビ等主なメディアへの露出から算出) 新聞記事への掲載約270件, テレビ・ニュース放映等約30件

① 新聞 (約270件) ※一部抜粋

日付	タイトル	新聞
H30.3.22	旧金子家住宅で上田宗箇流茶会	朝日新聞
H31.5.15	浅野氏入城400年記念 ミュージカル上演	日経新聞
H31.5.20	武将茶人が題材のミュージカル制作	時事通信社
H31.5.21	入城400年記念、いざ出陣 藩ゆかり2校対抗戦	朝日新聞
H31.5.22	広島藩ミュージカル	毎日新聞
H31.8.20	広島経済特集	日経新聞
H31.8.30	山まゆ織 後世へ紡ぐ	読売新聞
H31.9.13	「#浅野氏400年」 インスタ投稿を 第2回フォトコンテスト 広島	中国新聞
H31.9.13	映像で残す浅野氏の面影 11月上映 入城400年で広島エイト倶楽部	中国新聞
H31.9.13	「浅野氏広島城入城400年」 関連イベント	中国新聞
H31.9.16	「江戸」行列に熱視線 浅野氏広島入城400年	中国新聞
H31.9.16	浅野氏入城400年 再現行列華やか 広島 鉄砲隊や山車	中国新聞
H31.9.17	功績伝承ダンス 動画に 浅野氏広島入城400年 広島城	中国新聞

② テレビ (約30件) ※一部抜粋

日付	内容	メディア
H31.4.25	浅野氏入城400年記念切手	RCC
H31.5.21	修国戦	TSS
H31.6.21	わらび座ミュージカル市長訪問	TSS
H31.9.08	広島江戸祭り in 東照宮開催	HTV
H31.9.09	西国街道マンホール	RCC
H31.9.10	浅野家至宝展開催	NHK 他2局
H31.9.15	入城行列	NHK 他3局

Ⅲ 事業実績

(2) 周遊促進

様々な記念事業や、各地の歴史・文化施設の連携を図り、1つの記念事業に参加いただいた方に、更に歴史・文化への興味を深めてもらったり、他の記念事業へも参加したいと思っただけの取組を実施した。

1 集中実施期間（令和元年9月～10月）の設定（時期連携）

開催される時期を集中させることで、多くの事業が統一感を持って実施されていることをアピール（浅野氏広島城入城の日（9月15日）を中心とした9・10月）を設け、その期間に多くの事業を実施

浅野氏広島城入城400年記念事業月別実施数

H31 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R2 1月	2月	3月
8	11	9	17	22	12	38	40	32	19	16	15	18

※1事業で複数の月で実施するものがあり、事業数とは一致しない。

- 浅野氏広島城入城400年記念事業は111事業（42団体）を実施
- そのうち、集中実施期間（9～10月）に77事業を実施

2 事業実施施設やイベントの周遊促進

事業を実施する施設や、様々なイベントを複数訪れてもらえるような仕掛けを作り、施設・イベント相互の周遊を促進

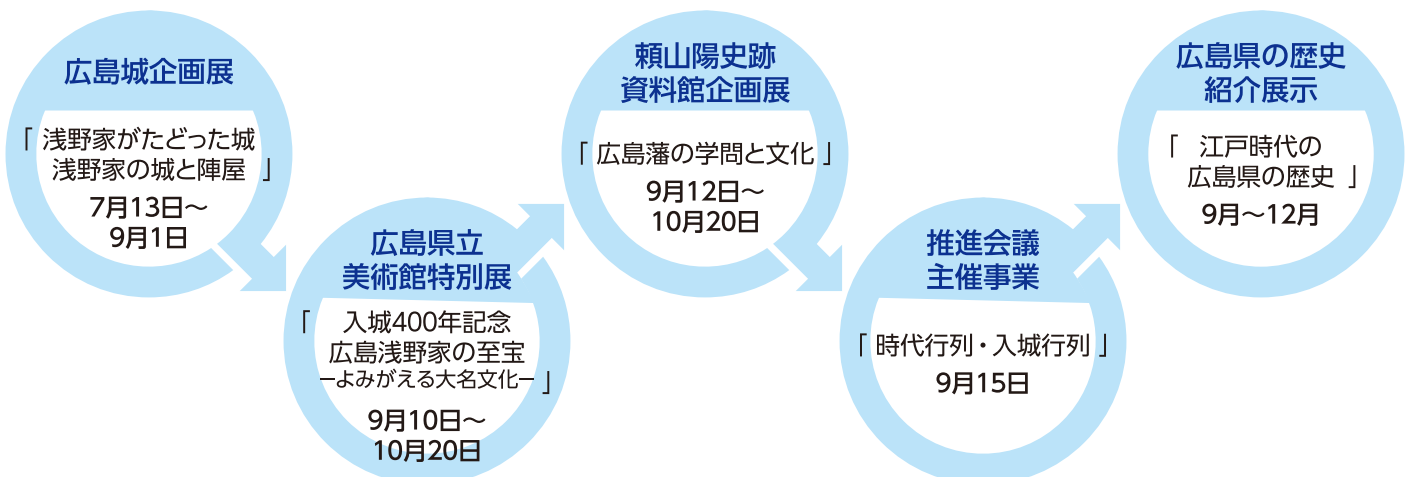
ア 関連する事業での相互PR（内容連携）

- ・関連性・共通性のある展示をしている企画展や施設、イベントをチラシ等で相互に紹介
- ・事業間のつながりやストーリーを構築し、関連する事業への興味を促した（専用ウェブサイトに掲載）

コース一例

浅野氏の足跡を辿る

12代にわたる広島藩主浅野氏がどのような政治を行ってきたか、それが現在の広島に何をもたらしたかなどについて企画展や講座等で構成



Ⅲ 事業実績

イ スタンプラリー・ツアーの実施（場所連携）

浅野氏広島城入城400年記念事業の一環として、江戸時代の広島文化、歴史を学ぶ施設や関連イベントを開催している施設にスタンプを設置し、県民の方が周遊するきっかけになるようなスタンプラリーの実施。

また、「浅野氏広島城入城400年」、「水野氏福山藩入封400年」を記念したツアーを実施した。



スタンプラリー実施施設

※ツアー訪問施設は で表記

エリア	市町	設置施設
広島県西部	広島市	広島県立美術館、縮景園、頼山陽史跡資料館、 広島城二の丸、 饒津神社、国泰寺、 広島護国神社、圓隆寺 (8)
	廿日市市	はつかいち美術ギャラリー (1)
	府中町	多家神社 (1)
広島県北部	三次市	三次市歴史民俗資料館 (1)
	三原市	三原市歴史民俗資料館 (1)
広島県東部	尾道市	本因坊秀策囲碁記念館 (1)
	福山市	 福山城博物館、 しんいち歴史博物館、 鞆の浦歴史民俗資料館、 神辺歴史民俗資料館、 菅茶山記念館、 ふくやま美術館、 ふくやま書道美術館、 広島県立歴史博物館 (8)

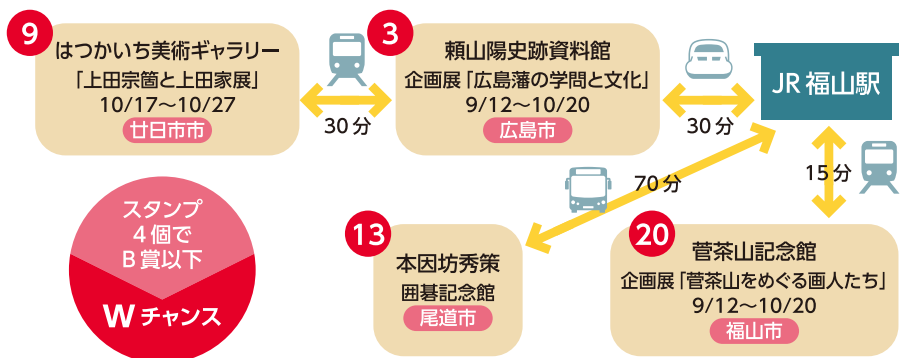
スタンプラリー：令和元年7月12日（金）～10月31日（木）（112日間）

スタンプラリーおすすめコース一例 ※専用ウェブサイトにおすすめの10コースを掲載

コース4 江戸時代の著名人を探究!

【おすすめポイント】

- 著名人を通して江戸時代の歴史や文化を学べます。
- 上田宗箇（茶道上田宗箇流の流祖）、頼山陽（江戸後期の日本を代表する文人、「日本外史」著）、菅茶山（江戸後期の儒学者・漢詩人）、本因坊秀策（江戸時代の天才囲碁棋士）の4人の著名人の功績を学べます。



726人が応募し、平均6施設訪問

Ⅲ 事業実績

(3) 福山城築城400年記念事業との連携

広島県の歴史・文化の再発見の一環として、福山藩に関連した歴史・文化も欠かせないものであり、「福山城築城400年記念事業」と連携し、広島・福山双方の記念事業を知っていただき、事業間を周遊していただけるよう共通的な広報等を展開するとともに、関連事業を通じて、県下の江戸時代の歴史・文化の一元的発信に取り組んだ。

※福山城築城400年記念事業参加者数：約11万人

1 関連事業の実施

ア 県立歴史博物館において企画展の実施

「毛利氏の動向や福島氏の治世」等についての企画展「戦国の争乱から太平の世へ」を実施した。

※実施期間：令和元年10月10日(木)～12月1日(日)



イ パネル巡回展の実施

江戸時代の広島藩・福山藩の歴史をわかりやすく紹介したパネル巡回展を県内の4施設で実施した。

※県立歴史博物館での巡回展示：令和元年10月10日(木)～12月1日(日)



▲展示した歴史パネルの一部

Ⅲ 事業実績

2 共通広報の展開

専用ウェブサイトや広報誌等を用いた、イベントや歴史・文化情報の相互PRを実施した。



▲マツダスタジアムでの共同PR(5/10)



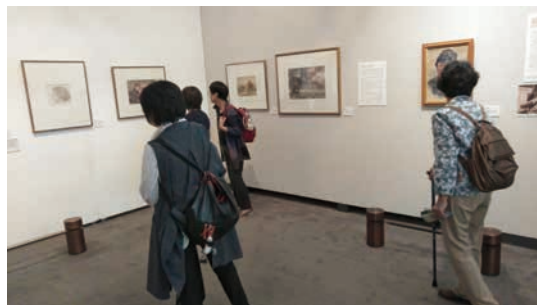
▲中国新聞での30段共同広告掲載(9/7)



▲浅野氏広島城入城400年記念事業のイベントガイドでの紹介



▲浅野氏広島城入城400年記念事業専用ウェブサイトでの紹介



▲ツアー参加者の様子▶



※スタンプラリー・ツアー実施(再掲)

Ⅲ 事業実績

(4) 主催事業の実施

浅野氏広島城入城日の400年後となる9月15日(旧暦8月8日)に、記念事業全体の盛り上げにつながるよう、子供達や歴史にあまり関心のない人も含め、多くの人に興味を持っていただけるような一般の方も参加できる主催事業を実施した。

1 時代行列・入城行列

江戸時代の行列を模して武士、町人に扮した県民等約150人が広島市内中心部を練り歩き、最終的に広島城に入城(約55,000人観覧)

- 柳橋公園にて出発式実施
- 基町クレドふれあい広場にてPRイベント実施
- 広島城にて入城式実施

●行列ルートMAP



Ⅲ 事業実績

2 記念式典

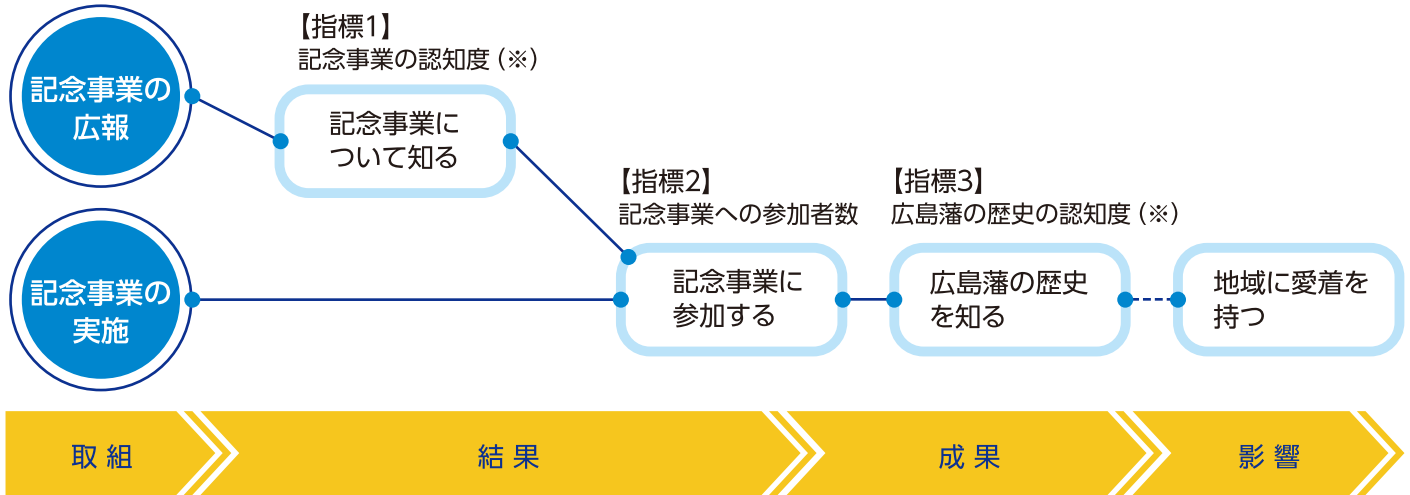
浅野氏広島城入城400年を祝うとともに、東京大学史料編纂所 本郷和人教授による講演会等を実施(約1,000人参加)

- 広島文教大学附属高等学校和太鼓部「文教太鼓 葵」によるオープニングアトラクション
- 主催者挨拶・来賓紹介
- 東京大学史料編纂所 本郷和人教授による講演会
テーマ:「浅野氏が描いた夢 浅野氏入城後の広島」
※式典・講演会の前後にロビーで上田流和風堂による茶会を開催



IV 事業成果

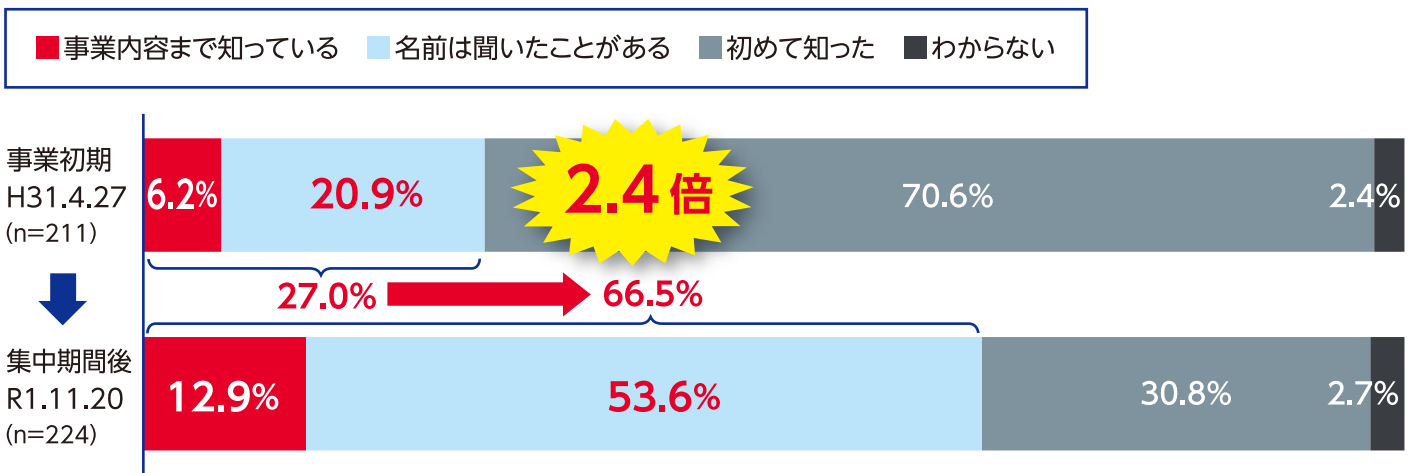
本事業は、広島県の歴史について改めて知っていただくことを目的とし、ひいては地域への愛着・誇りの形成につなげていくものであることから、事業成果として、江戸時代の広島県の歴史への認知度がどの程度高まったのかを検証するために、次のとおり指標を設定し、事業初期（4月27日）と集中期間後（11月20日）の2時点での測定等を行った。



※測定には J-MONITOR（民間機関が保有しているモニター（広島県民）から、年齢・性別等のバランスを考慮して抽出した約300人を対象とした調査）を活用（1回目：4月27日，2回目：11月20日）

指標1 記念事業の認知度

(問) 「浅野氏広島城入城400年記念事業」をご存じでしたか



「知っている者」の割合は 27.0%から 66.5%へ増加 (+39.5pt)

(参考) e スポーツの認知度 (2018年) 63%、電気自動車 (EV) の認知度 (2019年) 70%

指標2 記念事業への参加者数

1,022,192人

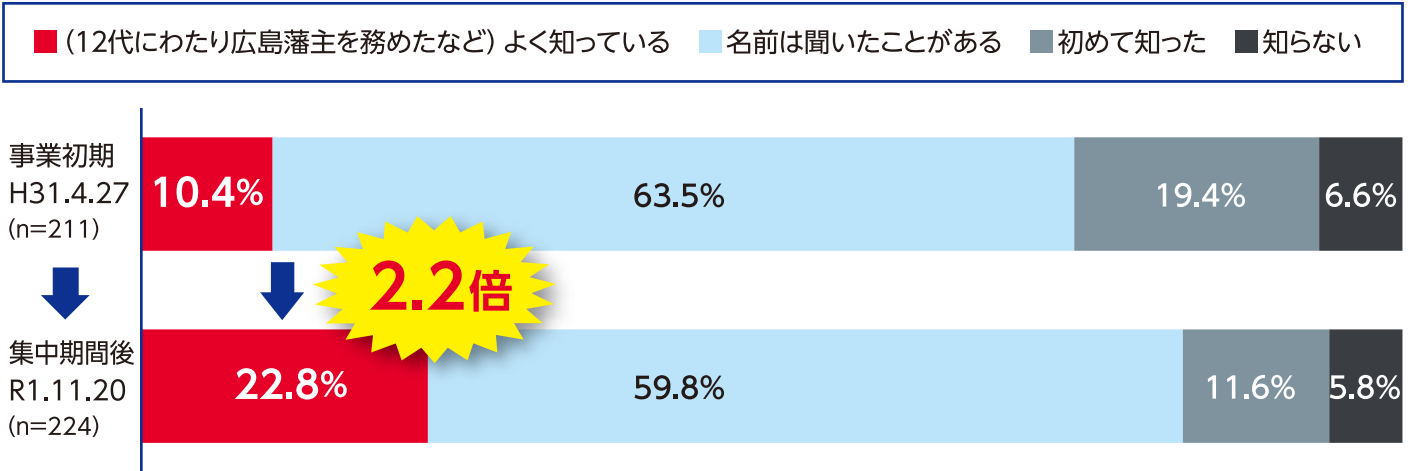
※事業計画策定時(平成30年10月)の目論見約36万人(70事業)

※111事業のうち2事業が新型コロナウイルス感染症発生の影響で中止

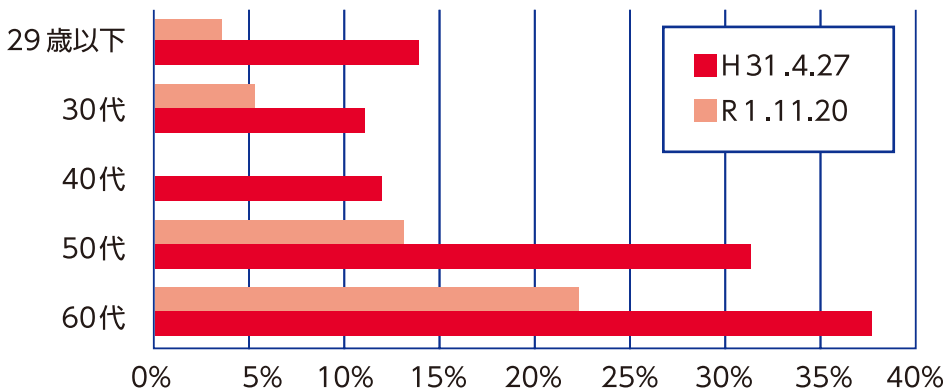
IV 事業成果

指標3 広島藩の歴史の認知度

広島藩の歴史の認知度を図るため、浅野氏が江戸時代に12代にわたり広島藩主を務めたなど、広島藩の歴史をよく知っている者の割合について、次のとおり測定した。



■年代別「よく知っている」の割合



※回答者数

	H31.4.27	R1.11.20
29歳以下	29人	29人
30代	39人	37人
40代	39人	50人
50代	46人	52人
60代	58人	56人
合計	211人	224人

	H31.4.27	R1.11.20	増減
29歳以下	3.4%	13.8%	+10.4pt
30代	5.1%	10.8%	+5.7pt
40代	0.0%	12.0%	+12.0pt
50代	13.0%	30.8%	+17.8pt
60代	22.4%	37.5%	+15.1pt

【成果と課題】

- これまで広島においては、江戸時代の歴史が語られる機会が比較的少なかったことも影響し、被爆以降の歴史に比べ、江戸時代の広島に対する認知度は決して高いとは言えない状況であったが、展示や体験などの幅広い事業で構成された本記念事業の取組を通じ、全ての年代において、実施前後で認知度の高まりが見受けられた。
- 一方、こうした歴史発信の取組を一過性のものとした場合、認知度は再び低下の一途をたどるおそれがあることから、次年度以降も継続して歴史発信の取組を進めていくことが肝要である。

V 今後の取組（予定）

被爆以前の歴史を取り上げ、広く県民に知っていただくことは、地域への愛着や誇りを育むことにつながるものである。

そのため、今後とも、継続して広島県の歴史の更なる理解促進を図っていくため、令和2年度以降においても関係団体等が協力し、本県の歴史や文化に親しむ事業に取り組む。

広島市における取組

- 市民等が引き続き広島県の歴史や文化に関心を持ち、学ぶ機会を確保できるよう、広島市郷土資料館や区民文化センター等の文化施設や区役所等で機会を提供していく。
- 広島城において、ハード・ソフト面での魅力向上を図り、より多くの市民等に武家文化を中心とした広島県の歴史について理解を深めてもらえるよう、今後も様々な機会を捉えて広島県の歴史・文化を発信していく。
(取組内容例)
 - ・史跡広島城跡二の丸復元建物において、縮景園築庭400年記念事業の一環として企画展示を実施

県における取組

- 今年度実施された記念事業で得られた有用な広島藩の歴史・文化に関する情報等について、江戸時代の全体の流れの中で、体系的に整理するなど、次年度以降も県民に分かりやすく発信していく。
(取組内容)
 - ・江戸時代の広島とゆかりの深い縮景園を望める美術館の一角で、歴史パネルを常設（英語併記）
 - ・専用ウェブサイトにて歴史・文化情報を追加掲載し、県民等への公開に向けたアーカイブ化
- 県民等が引き続き広島県の歴史・文化に触れる機会を確保できるよう、継続実施される記念事業への支援（広報等）を行う。
(浅野氏広島城入城400年を機に実施された歴史発信事業を継続して実施（予定）⇒40事業
※令和元年度に実施された記念事業111事業から、400年を記念した特別な展示・イベント（入城行列等）と昨年度以前から行われている事業を除いた60事業の80%に相当)
- 令和4年度まで継続される「福山城築城400年記念事業」に引き続き参画し、福山藩の歴史・文化情報の発信を通じて、広島県全域の江戸時代の歴史理解の浸透を図る。

推進会議構成団体

広島商工会議所	一般社団法人広島青年会議所
広島県	広島県経営者協会
広島市	一般社団法人広島県観光連盟
一般社団法人中国経済連合会	公益財団法人広島観光コンベンションビューロー
広島経済同友会	公益財団法人上田流和風堂

推進会議委員

会長	広島商工会議所会頭	深山 英樹 (～R1.10.31) 池田 晃治 (R1.11.1～)
副会長	広島県知事	湯崎 英彦
副会長	広島市長	松井 一實
委員	一般社団法人中国経済連合会会長	苅田 知英
委員	広島経済同友会代表幹事	池田 晃治 (～H31.4.23) 佐々木 茂喜 (H31.4.24～)
委員	一般社団法人広島青年会議所理事長	龍永 直記 (～H30.12.31) 伊藤 伸一郎 (H31.1.1～R1.12.31) 上野 慎一郎 (R2.1.1～)
委員	広島県経営者協会会長	西川 正洋
委員	一般社団法人広島県観光連盟会長	佐々木 茂喜
委員	公益財団法人広島観光 コンベンションビューロー理事長	深山 英樹 (～R1.10.31) 池田 晃治 (R1.11.1～)
委員	公益財団法人上田流和風堂理事長	上田 宗岡
監事	一般社団法人広島青年会議所理事長	伊藤 伸一郎 (H31.3.15～R1.12.31) 上野 慎一郎 (R2.1.1～)
監事	一般社団法人広島県観光連盟会長	佐々木 茂喜

記念事業実施団体・協力団体等の皆様

浅野氏広島城入城400年記念事業で、次の方々に大変お世話になりました。
誠にありがとうございました。

記念事業実施団体

【民間団体】

一般社団法人広島青年会議所，公益財団法人上田流和風堂，尾道市囲碁のまちづくり協議会，公益財団法人ひろしん文化財団，チームラボ広島城光の祭実行委員会，辻村寿三郎人形館，まちなか西国街道推進協議会，ひろしま通認定試験実行委員会，広島経営者協会，広島祭委員会，賀茂鶴酒造株式会社，夏の夜、祈りと平和の夕べ実行委員会，NPO 法人湯来地域づくり公社，My Japan，可部山まゆ同好会，株式会社わらび座，ひろでん中国新聞旅行株式会社，中国新聞社，浅野氏広島城入城400年記念事業推進会議，広島修道大学，たつじんくらぶ，湯ノ山旧湯治場利活用検討委員会，学校法人修道学園，饒津神社，広島蝋燭薪能の会，とうかさ祭禮委員会，有限会社三河屋，上田宗箇流和風会，株式会社広島アンデルセン，修道学園浅野氏記念事業実行委員会，たけはら憧憬の路実行委員会，浅野長晟入城400年饒津神社記念事業委員会，一般社団法人はつかいち観光協会（順不同）

【行政関係団体】

広島市立中央図書館，広島市教育委員会，各区役所，広島市交通科学館，広島市郷土資料館，（公財）広島市文化財団，広島城，広島市江波山気象館，広島市現代美術館，広島市立佐伯区図書館，湯来河野閲覧室，5days こども文化科学館）
呉市，竹原市，三原市，尾道市，福山市，大竹市，東広島市，廿日市市，海田町，山口県岩国市
広島県（広島県立文書館，縮景園，広島県立美術館，広島県教育委員会）

協力団体

国泰寺，とうかさ圓隆寺，広島護国神社，多家神社，はつかいち美術ギャラリー，三原市歴史民俗資料館，本因坊周作囲碁記念館，福山城博物館，ふくやま美術館，ふくやま書道美術館，鞆の浦歴史民俗資料館，しんいち歴史民俗博物館，神辺歴史民俗資料館，菅茶山記念館，元気ヒロシマ21企画，株式会社ポプラ，株式会社セブンイレブン・ジャパン，西日本高速道路公社，イオン株式会社，株式会社ローソン，株式会社ファミリーマート，株式会社もみじ銀行，株式会社第一生命，福屋，GA パートナース，広島エイト倶楽部，広島県バス協会，中国バス協会，広島本通商店街振興組合，広島金座街商店街振興組合，ひろしま街角観光案内所「トラベルパル」（順不同）